

第6 令和3年度企業会計決算の状況

企業会計は、県が独立採算性を原則とする企業的色彩の強い事業を行う際に、法律や条例によって設置するもので、地方公営企業法の全部又は一部の適用を受ける公営企業の会計をいいます。

企業会計は、公共の福祉を目的とするとともに、企業の経済性を発揮することも求められており、その経理については、地方公営企業法の定めるところによります。

この会計方式は、一般のいわゆる官公庁会計が現金主義により経理されるのに対し、発生主義に基づく複式簿記により経理される点で大きく異なっています。

三重県では、公共の福祉を増進するため、水道事業、工業用水道事業、流域下水道事業、病院事業、電気事業の5事業の経営を行っていますので、以下、それぞれの企業会計ごとに、その決算状況を説明します。

1 水道事業の概況

営業関係では、北中勢水道用水供給事業（北勢系・木曾川水系：給水能力80,300³m³/日、北勢系・三重用水系：給水能力51,000³m³/日、北勢系・長良川水系：給水能力18,000³m³/日、中勢系・雲出川水系：給水能力81,416³m³/日、中勢系・長良川水系：給水能力58,800³m³/日）及び南勢志摩水道用水供給事業（給水能力139,850³m³/日）の2事業を運営し、令和3年度は県内18市町に対し、延べ75,796,973³m³の給水を行いました。

令和3年度の営業成績について、事業収益は9,426,775千円（対前年度比103.2%）で、内訳は、営業収益8,110,819千円（対前年度比99.8%）及び営業外収益1,315,956千円（対前年度比131.2%）であり、また、事業費用は9,031,858千円（対前年度比103.1%）で、内訳は、営業費用8,272,352千円（対前年度比100.3%）及び営業外費用759,505千円（対前年度比148.1%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額394,917千円が当年度の純利益となりました。

一方、改良事業では、地震等の災害に備えるとともに水道用水の安定供給を図るため、北中勢水道用水供給事業及び南勢志摩水道用水供給事業において耐震化や老朽化対策などの施設改良を計画的に実施しました。

令和3年度損益計算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	8,272,352	営業収益	8,110,819
原水及び浄水費	2,281,032	給水収益	8,104,863
配水費	654,655	その他営業収益	5,956
業務費	451,517		
総係費	369,063		
減価償却費	4,249,225		
資産減耗費	266,860		
営業外費用	759,505	営業外収益	1,315,956
支払利息	296,862	受取利息	537
受託工事費	462,369	他会計補助金	43,304
雑支出	275	受託工事収益	462,369
		長期前受金戻入	807,935
		雑収益	1,811
当年度費用合計	9,031,858		
当年度純利益	394,917		
合 計	9,426,775	合 計	9,426,775

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

令和3年度損益計算書<P/L>（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：千円、%（構成比））

借 方	貸 方
営業費用 8,272,352 (87.7%)	営業収益 8,110,819 (86.0%)
営業外費用 759,505 (8.1%)	営業外収益 1,315,956 (14.0%)
当年度純利益 394,917 (4.2%)	
合計 9,426,775	合計 9,426,775

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

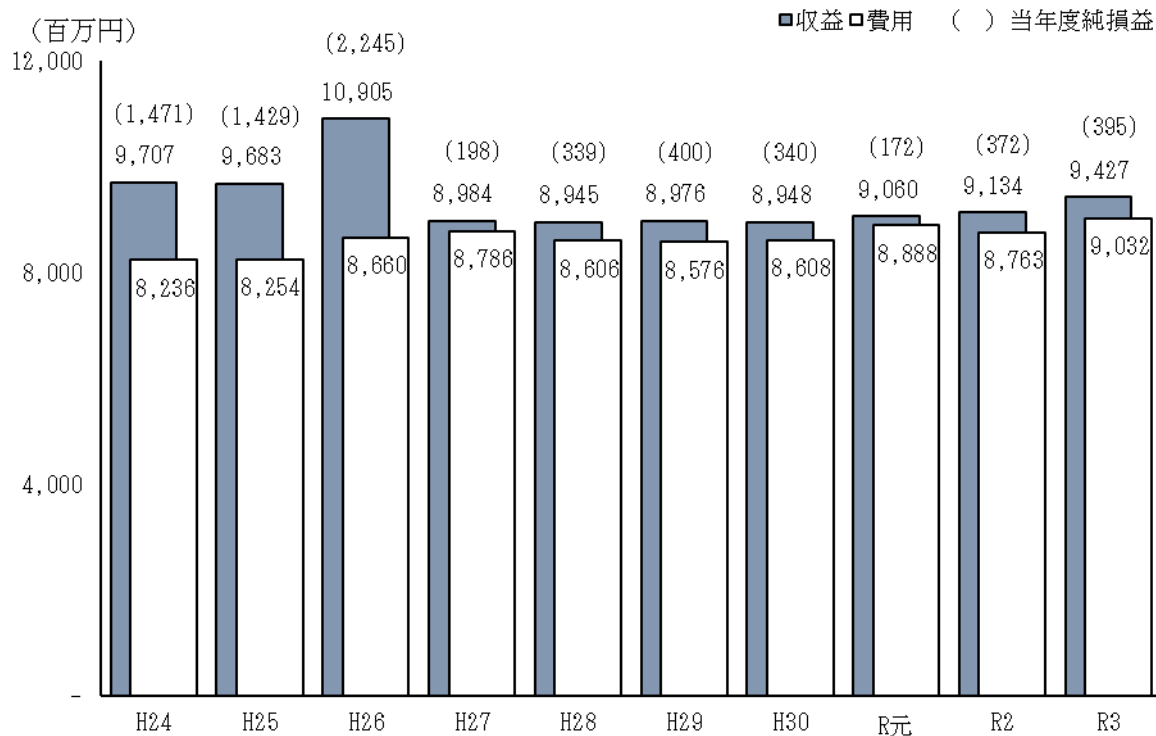
貸借対照表<B/S> (令和4年3月31日現在)

(単位：千円、% (構成比))

借方	貸方
固定資産 118,236,657 (90.2%)	固定負債 14,100,600 (10.8%)
	流動負債 2,531,138 (1.9%)
	繰延収益 22,020,755 (16.8%)
	資本金 90,814,008 (69.3%)
流動資産 12,865,497 (9.8%)	剰余金 1,635,653 (1.2%)
	資本剰余金 869,153
	利益剰余金 766,500
合計 131,102,154	合計 131,102,154

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

2 工業用水道事業の概況

営業関係では、北伊勢工業用水道事業（契約水量 754,990 m³/日）、中伊勢工業用水道事業（契約水量 14,970 m³/日）及び松阪工業用水道事業（契約水量 38,500 m³/日）の3事業を運営し、県内企業の生産活動における水需要に応えるため、令和3年度においては105工場に対し、延べ215,019,350 m³の工業用水を供給しました。

令和3年度の営業成績について、事業収益は5,779,603千円（対前年度比100.2%）で、内訳は、営業収益5,417,442千円（対前年度比100.3%）、営業外収益362,161千円（対前年度比98.9%）であり、また、事業費用は5,390,262千円（対前年度比99.3%）で、内訳は、営業費用5,208,195千円（対前年度比99.6%）、営業外費用182,068千円（対前年度比92.2%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額389,340千円が当年度の純利益となりました。

一方、改良事業では、地震等の災害に備えるとともに工業用水の安定給水を図るため、北伊勢工業用水道等の老朽化施設の更新・補強工事など施設改良を計画的に実施しました。

令和3年度損益計算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	5,208,195	営業収益	5,417,442
原水及び浄水費	1,534,330	給水収益	5,192,706
配水費	188,787	その他営業収益	224,736
業務費	342,840		
総係費	323,971		
減価償却費	2,653,959		
資産減耗費	164,309		
営業外費用	182,068	営業外収益	362,161
支払利息	179,847	受取利息	205
受託工事費	1,747	他会計補助金	2,905
雑支出	473	受託工事収益	1,747
		長期前受金戻入	353,893
		雑収益	3,410
当年度費用合計	5,390,262		
当年度純利益	389,340		
合 計	5,779,603	合 計	5,779,603

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

令和3年度損益計算書<P/L> (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位：千円、% (構成比))

借方	貸方
<p>営業費用 5,208,195 (90.1%)</p>	<p>営業収益 5,417,442 (93.7%)</p>
<p>営業外費用 182,068 (3.2%)</p>	<p>営業外収益 362,161 (6.3%)</p>
<p>当年度純利益 389,340 (6.7%)</p>	
<p>合計 5,779,603</p>	<p>合計 5,779,603</p>

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

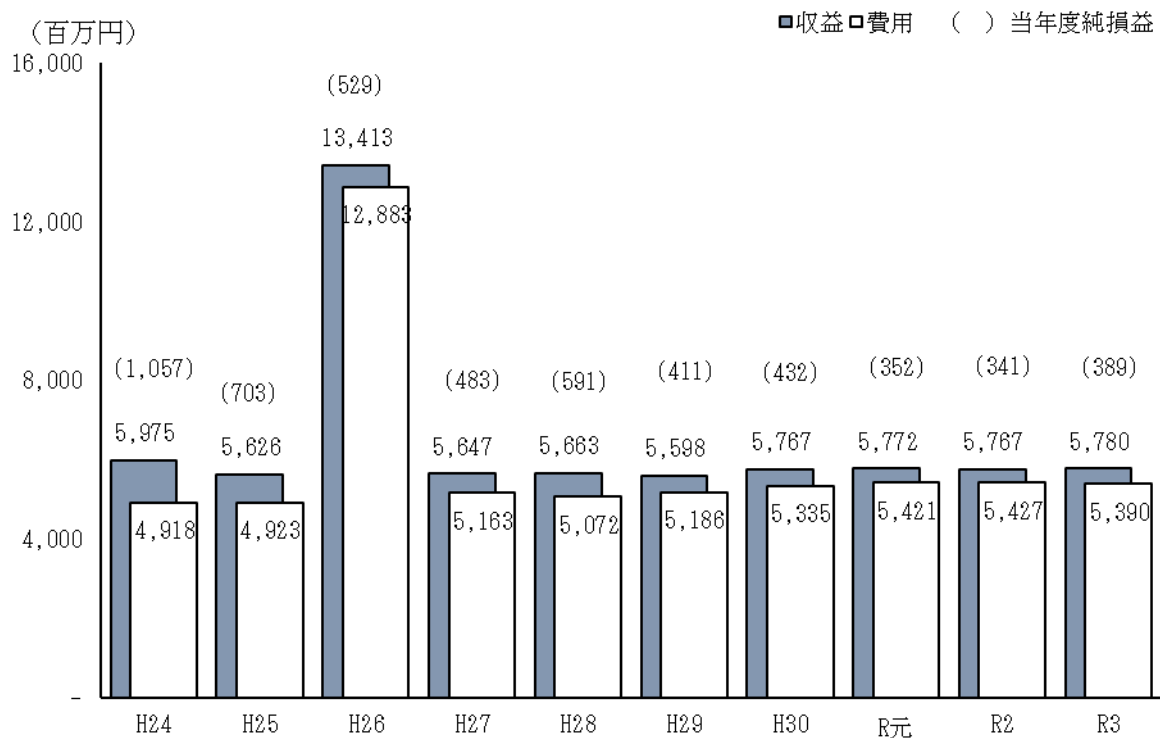
貸借対照表<B/S> (令和4年3月31日現在)

(単位：千円、% (構成比))

借方	貸方
	<p>固定負債 24,552,449 (20.3%)</p>
	<p>流動負債 1,643,043 (1.4%)</p>
	<p>繰延収益 16,613,185 (13.7%)</p>
<p>固定資産 112,168,436 (92.8%)</p>	<p>資本金 76,071,461 (63.0%)</p>
<p>流動資産 8,670,761 (7.2%)</p>	<p>剰余金 1,959,060 (1.6%) 資本剰余金 1,228,732 利益剰余金 730,329</p>
<p>合計 120,839,197</p>	<p>合計 120,839,197</p>

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

3 流域下水道事業の概況

営業関係では、北勢沿岸流域下水道事業（北部処理区：処理能力149,500m³/日、南部処理区：処理能力64,600m³/日）、中勢沿岸流域下水道事業（志登茂川処理区：処理能力11,300m³/日、雲出川左岸処理区：処理能力40,200m³/日、松阪処理区：処理能力39,000m³/日）及び宮川流域下水道事業（宮川処理区：処理能力26,800m³/日）の3流域6処理区を運営し、令和3年度は県内15市町からの汚水84,510,735m³を処理しました。

令和3年度の営業成績について、事業収益は13,179,250千円（対前年度比100.8%）で、内訳は、営業収益5,278,266千円（対前年度比104.3%）、営業外収益7,890,682千円（対前年度比99.5%）及び特別利益10,302千円（対前年度比12.5%）であり、また、事業費用は12,947,787千円（対前年度比101.7%）で、内訳は、営業費用12,266,181千円（対前年度比102.4%）、営業外費用671,304千円（対前年度比101.7%）及び特別損失10,302千円（対前年度比11.1%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額231,463千円が当年度の純利益となりました。

一方、改良事業では、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図るため、流域下水道の整備を推進するとともに施設の老朽化対策など施設改良を計画的に実施しました。

令和3年度損益計算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	12,266,181	営業収益	5,278,266
管渠費	30,765	維持管理負担金収益	5,259,080
ポンプ場費	94,521	その他営業収益	19,186
処理場費	4,142,210		
総係費	139,738		
減価償却費	7,824,881		
資産減耗費	14,711		
その他営業費用	19,356		
営業外費用	671,304	営業外収益	7,890,682
支払利息及び企業債取扱諸費	594,571	受取利息及び配当金	1
雑支出	76,733	他会計補助金	615,704
		長期前受金戻入	7,174,547
		雑収益	100,430
特別損失	10,302	特別利益	10,302
その他特別損失	10,302	その他特別利益	10,302
当年度費用合計	12,947,787		
当年度純利益	231,463		
合 計	13,179,250	合 計	13,179,250

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

令和3年度損益計算書＜P/L＞（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：千円、%（構成比））

借 方	貸 方
	営業収益 5,278,266 (40.0%)
営業費用 12,266,181 (93.1%)	
	営業外収益 7,890,682 (59.9%)
営業外費用 671,304 (5.1%)	
特別損失 10,302 (0.1%)	
当年度純利益 231,463 (1.8%)	特別利益 10,302 (0.1%)

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

貸借対照表<B/S> (令和4年3月31日現在)

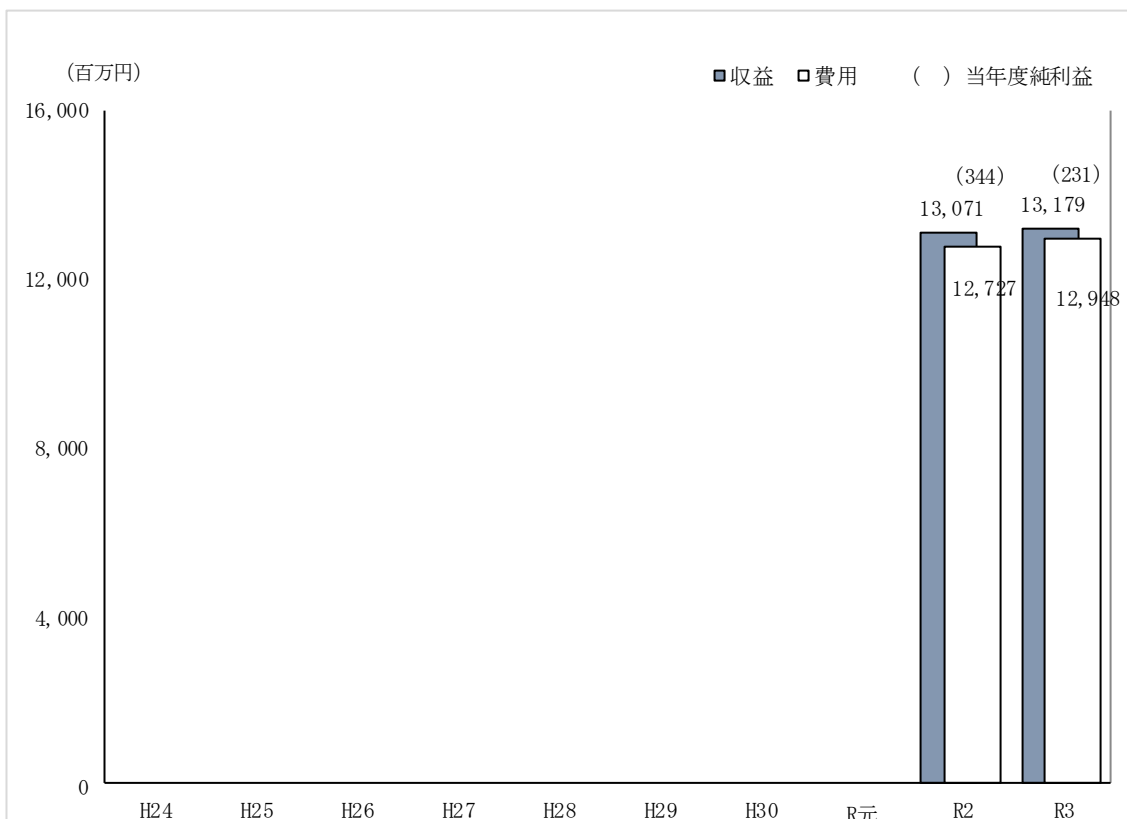
(単位：千円、% (構成比))

借方		貸方	
		固定負債	36,989,445 (15.7%)
		流動負債	4,814,625 (2.0%)
固定資産	232,637,722 (98.8%)	繰延収益	163,690,035 (69.5%)
		資本金	9,619,104 (4.1%)
流動資産	2,724,559 (1.2%)		

剰余金 20,249,073 (8.6%)
 資本剰余金 19,673,832
 利益剰余金 575,241

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため、差引が合わない場合があります。)

※令和2年度から地方公営企業法の一部を適用しているため、令和元年度以前の損益情報はありません。

4 病院事業の概況

三重県病院事業においては、こころの医療センター、一志病院及び指定管理者制度を導入している志摩病院の3病院を管理運営し、県民の皆さんや地域に信頼され、かつ医療従事者にとって魅力ある病院づくりを進めながら、良質で満足度の高い医療サービスを提供しているところです。

令和3年度は、こころの医療センターにおいては、県内の精神科医療の中核病院としての取組など、一志病院においては、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの取組など、それぞれの役割やニーズに応じた病院運営を行うとともに、経営の健全化に取り組みました。志摩病院においては、指定管理者である公益社団法人地域医療振興協会により、診療機能の充実を図りながら、志摩地域の中核病院としての取組を進めました。また、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」）に関しても、感染患者の受入れや宿泊療養施設等への医療従事者の派遣、ワクチン接種や検査などに関係機関と連携しながら対応しました。

これらの3病院の運営状況については、入院患者数が延べ143,274人（1日平均392.5人）、外来患者数が延べ124,247人（1日平均513.4人）で、前年度に比べ入院患者数は延べ14,347人の減少、外来患者数は延べ958人の増加となりました。

収益については、新型コロナの影響により患者数が減少し医業収益が減少した一方で、新型コロナに係る国からの交付金を受け入れたことにより医業外収益が増加したことなどから、経常収益は6,152,827千円となり、前年度に比べ5.5%増加しました。

また、費用については、医業費用において経費等が減少したことなどから、経常費用は5,186,007千円となり、前年度に比べ3.8%減少しました。

その結果、これらを差引した経常損益は966,820千円の黒字となりました。

なお、建設改良費については、こころの医療センターにおける北病棟ほか内部改修工事や一志病院における衛生設備等改修工事、志摩病院における管理検査棟ほか屋上防水・外壁改修工事等により総額319,823千円を執行しました。

令和3年度損益計算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
医業費用	4,970,760	医業収益	2,351,191
給与費	2,702,117	入院収益	1,715,852
材料費	254,834	外来収益	479,910
経費	1,416,215	その他医業収益	155,429
減価償却費	580,896		
資産減耗費	10,345		
研究研修費	6,353		
医業外費用	215,247	医業外収益	3,801,636
支払利息及び企業債取扱諸費	86,901	受取利息配当金	42
長期前払消費税償却	25,407	他会計補助金	133,101
患者外給食材料費	370	長期前受金戻入	253,676
雑損失	102,569	補助金	60,953
		負担金	3,136,748
		その他医業外収益	217,115
特別損失	-	特別利益	-
当年度費用合計	5,186,007		
当年度純利益	966,820		
合 計	6,152,827	合 計	6,152,827

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

損益計算書＜P/L＞（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：千円、%（構成比））

借 方		貸 方	
		医業収益	2,351,191 (38.2%)
医業費用	4,970,760 (80.8%)		
		医業外収益	3,801,636 (61.8%)
医業外費用	215,247 (3.5%)		
特別損失	-		
当年度純利益	966,820 (15.7%)		
		特別利益	-

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

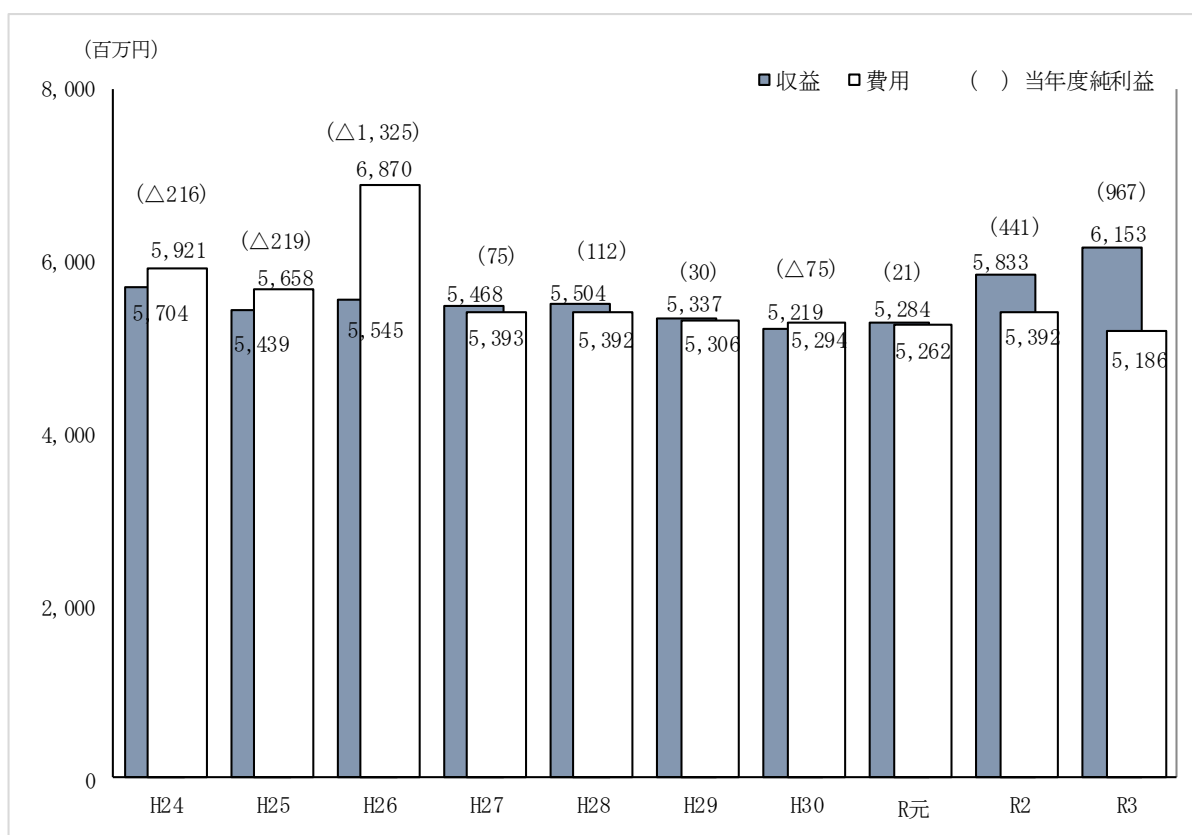
貸借対照表<B/S> (令和4年3月31日現在)

(単位：千円、%(構成比))

資 産		負債・資本	
固定資産	7,909,086 (77.6%)	固定負債	11,314,587 (111.0%)
		流動負債	1,311,161 (12.9%)
		繰延収益	3,696,158 (36.3%)
		資本金	311,410 (3.1%)
流動資産	2,283,651 (22.4%)	剰余金	△6,440,580 (△63.2%)
		資本剰余金	1,371,554
		欠損金	7,812,134

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移



(四捨五入のため、差引が合わない場合があります。)

5 電気事業の概況

電気事業については、RDF焼却・発電事業の円滑な終了に向け、関係市町及び関係部局等と協議・調整を行うとともに、RDF焼却・発電施設撤去工事やRDF処理委託料の清算等の取組を進めました。

令和3年度の営業成績について、事業収益は1,520千円（対前年度比85.7%）で、その内容は、営業外収益1,520千円（対前年度比85.7%）であり、事業費用は1,303,180千円（対前年度比262.9%）で、内訳は、営業費用824,554千円（対前年度比426.5%）、営業外費用65,205千円（対前年度比2,859.3%）及び特別損失413,421千円（対前年度比137.8%）です。

以上の結果、事業収益と事業費用の差額1,301,660千円が当年度の純損失となりました。

令和3年度損益計算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：千円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	824,554	営業外収益	1,520
一般管理費	824,554	受取利息	72
営業外費用	65,205	他会計補助金	1,080
支払利息	1	雑収益	368
雑支出	65,204		
特別損失	413,421		
		当年度収益合計	1,520
		当年度純損失	1,301,660
合 計	1,303,180	合 計	1,303,180

（四捨五入のため、合計が合わない場合があります。）

令和3年度損益計算書<P/L> (令和3年4月1日~令和4年3月31日)
(単位:千円、% (構成比))

借方	貸方
<p>営業費用 824,554 (63.3%)</p> <p>営業外費用 65,205 (5.0%)</p>	<p>営業外収益 1,520 (0.1%)</p>
<p>特別損失 413,421 (31.7%)</p>	<p>当年度純損失 1,301,660 (99.9%)</p>
<p>合計 1,303,180</p>	<p>合計 1,303,180</p>

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

貸借対照表<B/S> (令和4年3月31日現在)

(単位:千円、% (構成比))

借方	貸方
<p>固定資産 360,000 (16.1%)</p>	<p>固定負債 210,276 (9.4%)</p> <p>流動負債 12,158 (0.5%)</p>
<p>流動資産 1,877,821 (83.9%)</p>	<p>資本金 3,810,883 (170.3%)</p>
	<p>剰余金 △1,795,496 (△80.2%)</p>
<p>合計 2,237,821</p>	<p>合計 2,237,821</p>

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

年度別の総収益・総費用の推移

